

【ケアサイト除菌スプレー エビデンスについて】

「一般財団法人日本食品分析センター」にて殺菌効果・ウイルス不活化効果の測定を実施しています。

①殺菌効果

大腸菌O-157、サルモネラ、黄色ブドウ球菌、MRSA、腸炎ビブリオに対して99.99%以上の殺菌効果。

表-1 試験液1 ml当たりの生菌数測定結果

試験菌	対 象	生菌数 (/ml)			
		開始時*	15秒後	30秒後	60秒後
大腸菌 (O157:H7)	検 体	5.1×10^5	<10	<10	<10
	対 照	5.1×10^5	—	—	3.3×10^5
サルモネラ	検 体	6.6×10^5	<10	<10	<10
	対 照	6.6×10^5	—	—	7.7×10^5
黄色 ブドウ球菌	検 体	6.1×10^5	<100	<100	<100
	対 照	6.1×10^5	—	—	6.4×10^5
MRSA	検 体	1.0×10^6	<100	<100	<100
	対 照	1.0×10^6	—	—	7.1×10^5
腸炎ビブリオ	検 体	5.6×10^5	<10	<10	<10
	対 照	5.6×10^5	—	—	5.8×10^5

— : 実施せず

<10及び<100 : 検出せず

対照 : 精製水 (黄色ブドウ球菌及びMRSAは生理食塩水、腸炎ビブリオは3 %塩化ナトリウム溶液)

②ウイルス不活化効果

インフルエンザウイルスに対して99.9%以上の不活化効果。

表-1 作用液のウイルス感染価測定結果

試験ウイルス	対 象	log TCID ₅₀ /ml*			
		開始時	1分後	5分後	15分後
インフルエンザ ウイルス	検 体	8.3	<2.5	<2.5	<2.5
	対 照	8.3	***	***	7.5

TCID₅₀ : median tissue culture infectious dose, 50 %組織培養感染量

* 作用液1 ml当たりのTCID₅₀の対数値

開始時 : 作用開始直後の対照のTCID₅₀を測定し、開始時とした。

対照 : 精製水

作用温度 : 室温

<2.5 : 検出せず

*** : 試験実施せず

試験依頼先 一般財団法人日本食品分析センター

試験成績書発行年月日 平成22年4月15日

試験成績書発行番号 第10013231001-01号